

# 2016年度 第3四半期決算のご報告

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社を取り巻く市場環境は、海外においては、中国を中心としたアジア地域の景気の下振れリスク、欧米の政策に関する不確実性等による先行き不透明感を強めつつ推移し、国内においては、為替が円安に推移する中、一部に弱さがみられたものの、総じて緩やかな回復基調となりました。

こうした中、第3四半期累計決算(4月～12月)は、売上高は前年同期に対して為替の円高に伴う減収影響があったものの、成長戦略の推進ならびに産業インフラを中心とした国内需要の増加により、前年同期を上回りました。営業損益は原価低減等を推進したものの、為替変動等の影響により、前年同期を下回りました。

通期の業績見通しについては、足元の動向を踏まえ、一部のセグメントで見直しているものの、全体としては前回発表を据え置いています。

不確実性が高まってきている今日ではありますが、当社はエネルギー・環境技術の革新により持続可能な社会の実現に貢献するという経営方針のもと、2018年度に売上高9,000億円、営業利益率6%以上を目指し、成長戦略の推進、収益力の更なる強化を推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

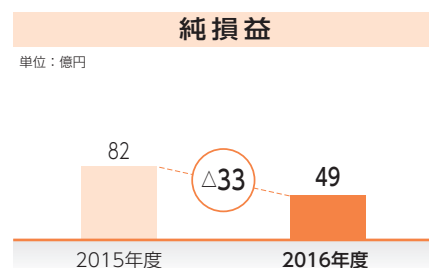
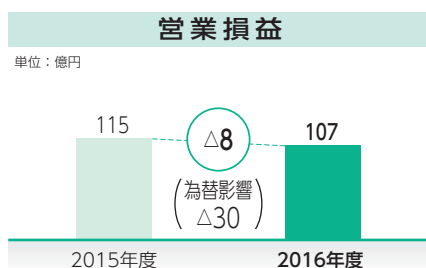
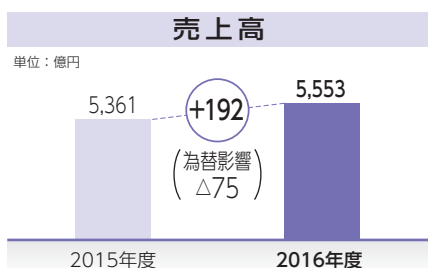
2017年2月

富士電機株式会社  
代表取締役社長

北澤通宏



## 2016年度第3四半期累計決算 (4月～12月)



### セグメント別状況

|           | 売上高    |        |     | 営業損益   |        |     |
|-----------|--------|--------|-----|--------|--------|-----|
|           | 2015年度 | 2016年度 | 増減  | 2015年度 | 2016年度 | 増減  |
| 発電・社会インフラ | 1,066  | 1,162  | 95  | 26     | 34     | 8   |
| 産業インフラ    | 1,067  | 1,265  | 199 | △43    | 6      | 50  |
| パワエレ機器    | 1,493  | 1,454  | △39 | 44     | 20     | △23 |
| 電子デバイス    | 939    | 915    | △24 | 74     | 58     | △16 |
| 食品流通      | 771    | 738    | △34 | 39     | 17     | △22 |
| その他       | 469    | 433    | △36 | 18     | 15     | △3  |
| 消去または全社   | △445   | △413   | 31  | △42    | △43    | △1  |
| 合計        | 5,361  | 5,553  | 192 | 115    | 107    | △8  |

### 平均為替レート (第3四半期累計)

|      | 2015年度  | 2016年度  | 増減      |
|------|---------|---------|---------|
| 1ドル  | 121.70円 | 106.63円 | △15.07円 |
| 1ユーロ | 134.36円 | 118.02円 | △16.34円 |

#### 売上高

売上高は、為替の円高に伴う減収影響があったものの、発電・社会インフラと産業インフラを中心とした需要の増加により伸長し、前年同期に比べ増収となりました。

セグメント別には、発電・社会インフラは、水力発電設備およびスマートメータの増加により増収となりました。産業インフラは、国内向けの変電分野、省エネ、更新需要が堅調な産業プラント分野が伸長したことに加え、国内外でデータセンター向け等の新規事業が増加し大幅な増収となりました。パワエレ機器は、為替変動が大きく影響(△36億円)して減収となったものの、アジアにおいて盤事業が堅調に推移しました。電子デバイスは、為替変動の影響(△26億円)により減収となりましたが、パワー半導体は自動車分野が堅調に推移しました。食品流通は、コンビニエンスストア向け設備機器の需要が増加したものの、国内自販機市場の需要減少および中国自販機市場の立ち上がり遅れにより減収となりました。

#### 営業損益

営業損益は、価格ダウンを上回る原価低減を推進したものの、為替変動の影響等により、前年同期に比べ減益となりました。

#### 純損益

純損益は、為替差損による営業外損益の悪化および投資有価証券売却益の減少等による特別損益の悪化を主要因として前年同期に比べ減益となりました。

## 2016年度通期業績予想

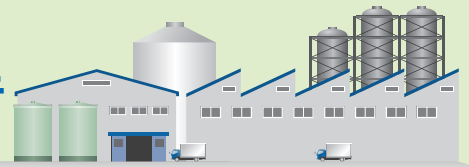
前回発表(2016/10/27)と変更ありません。

|                   | 売上高   | 営業損益 | 純損益 |
|-------------------|-------|------|-----|
| 2015年度(実績)        | 8,136 | 450  | 306 |
| 2016年度予想(10/27発表) | 8,200 | 450  | 270 |

第4四半期為替レート(前回発表時と変更なし)

|      |       |
|------|-------|
| 1ドル  | 100円  |
| 1ユーロ | 110円  |
| 1人民元 | 15.3円 |

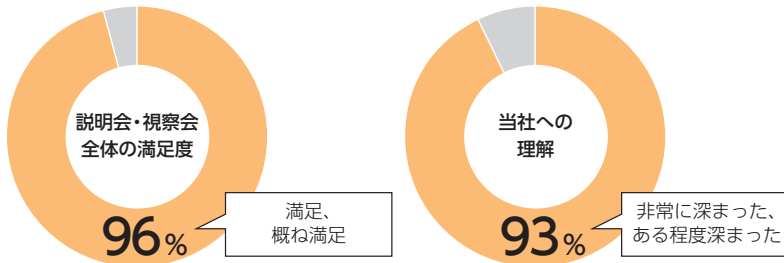
# 経営方針説明会・工場視察会開催のご報告



今年度も経営方針説明会・工場視察会を開催し、株主様とご同業者様、計365名にご参加いただきました。当日は、経営や事業の取り組みについて説明した後、ものつくりの現場をご視察いただきました。

本説明会・視察会も今年度で10年目を迎え、延べ2,400名以上の方々にご参加いただいております。今後も当社をより一層ご理解いただくため、経営方針説明会・工場視察会を継続して実施していきます。

## 【参加者アンケート結果】



アンケートにご協力いただきました株主の皆様、誠にありがとうございました。



経営方針説明会(三重工場視察会)

## 三重工場

11/15開催 79名参加

自動販売機と冷蔵・冷凍ショーケースの製造現場に加え、最新を含む歴代の自動販売機をご視察いただきました。



### 参加者の声

自動販売機の製造工程などを面白く拝見させていただきました。工場内どこを見ても整理整頓、掃除が行き届いていて気持ちよかったです。



## 大田原工場

11/30開催 49名参加

電気の安全な利用に欠かせない遮断器(ブレーカ)の製造現場と当社の自動化製造技術をご視察いただきました。



### 参加者の声

24時間稼働や資格者育成状況の見える化など、工場勤務者の苦勞が見てとれたことは収穫であり、現代の生産現場を知ることが出来ました。



## 川崎工場

12/6開催 135名参加

“熟練の技”が光る火力・地熱発電の蒸気タービンや発電機などの製造現場および燃料電池をご視察いただきました。



### 参加者の声

タービン発電機の大きさにびっくりしました。写真で見ただけではわからなかったことが実物を見学することによってその大きさや努力がよくわかりました。



## 東京工場

12/12開催 102名参加

発電・社会インフラ、産業インフラ分野向けのプラントシステム工場において、計測機器などに組み込まれているプリント基板の製造現場および、システム試験の現場をご視察いただきました。



### 参加者の声

小さな半導体の部品管理から、プリント基板の作成、大きな装置が完成するまでを見学し、ものつくりに真摯に取り組んでいると感じました。

